

駐車場難に深刻

後免町商店街の悩み



後免町商店街の交通規制が言われて十年になりますが、商店街を進入禁止という声があり、四月五日後免町公民館に関係住民が自主的に集まり、今後の対応策について話し合いました。

この後免町商店街の深刻な駐車場難の問題については、町民が知恵を出し合い、お互いが手を取り合つてどのようにやっていくかを

関係住民が 自主会合

話し合おうと開かれたものです。商店街の交通状態は、いよいよパニック前であり、駐車を言いわたされる前にみんなで考えていこうというものです。

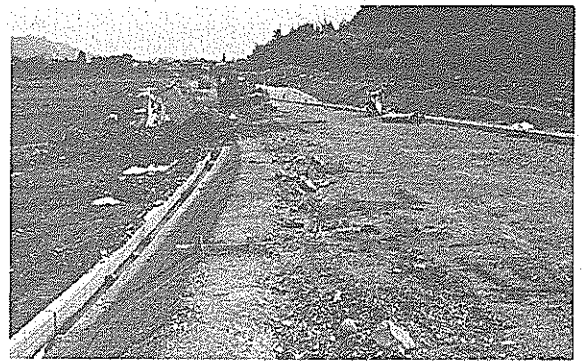
商店会としても、交通規制が叫ばれてその対策の必要性を考へて今までも何度か対策会をもちましたが、決断が出ず、具体化できずに今日までできていません。

商店街駐車禁止の対策案として、舟入川の上に鉄板をのせて、あの程度は駐車場に利用できるが、プライバシーの問題もあり、舟入

川付近の住民の同意が必要となつてくる。▼電車通りは北側に白線を引いて駐車場の利用を考へている。▼商店街も十時から五時までは進入禁止というふうにしてはどうか。▼商店街で買物をすれば無料というふうな考へ方はできないものか。▼などが話されました。ぜひモデル的に一度やってみるべきだということも、後免の町も旧態依然としたものではなくて、新しい方法を考へるべきで、例えば土曜日が南の方へ移動したことは大きな改革である、との意見もありました。

また、駐車禁止になるとどんな不利益が商店街にできてくるか、かえつて問題が解決しやすくなる、後で良い結果になりはしないだろうか、という意見もありました。

この会合を機会に、商店会では駐車禁止になることを前提に、▼共同組合を発足させて駐車場の交渉にあたっていく。▼そして、自分の店や三叉路に車を止めないなど、自分たちができることから気を付け、注意し合っていく。▼今後の写真等は自主的に作成し、市に協力を願う、という結論を出し、今後も駐車場難解決と市民に愛される商店街の発展に向けて、このよきな会合を活発に開いていくことを確認しました。



広域農道の一部を着工

五十八年度完成予定

浜改田から久礼田に抜ける南北約十一キロ、幅員七・五メートルの広域農道は、五十一年度から着工しており、五十一年度実施分である比江―園府間の六三〇メートルがもうすぐ完成の運びとなります。

広域農道は、県営土地改良事業・南国地区営農団地農道整備事業が正式名称で、四十五年度から園

集団化をすすめるため、広域的な農業団地を作ろうという目的で計画されたものです。市でも、四十八年の三月市議会で「広域農道の施行について」の議決をしましたが、着手の段階で二転三転遅れていたものです。

これは、広域農道を作ることによつて約十萬三千平方メートルの農地がつぶされ、農地の宅地化や農業の

衰退には車をかけることになり、また今後も東部バイパスや黒潮ライン、高知空港などで、約百平方メートルの農地の喪失が予想されることが反対の理由でした。

また、四十八年の石油ショック以来の物価高騰により、当初総額十二億円の予定だった事業費が倍額に近い十九億七千万円となり、市負担の総費が十三億七千二

百万円で財政負担も大きくなることや、果樹事業にもなる超過負担の問題などから、一時計画を中止していました。

しかし、広域農道ができることによって産業、経済、文化、教育などすべての発展につながることで、四十九年十二月市議会で広域農道実施の方向へふみきり、その後用地交渉などを経て今日に致つたものです。

今後の着工予定としては、五十二年度は園府以北の県道植野―土佐山田線の久礼田農務付近まで実施され、以後は徐々に十年計画で、五十八年までに完成となる予定です。

市民の声を 行政へ反映

昭和五十二年度の市政モニターを募集しています。

財政再建下にある南国市が、市政に対する市民の建設的な意見や要望を聞くことによつて、世論の動向を正しくとらえ、これを行政に反映させ、みんなで明るく住みよい町づくりを進めていこうとするものです。

この市政モニターも今年で三年

